

## ■ VISTA 5 ユーザーレポート

株式会社とちぎテレビ 様

VISTA 5 -42



### 第1スタジオサブをVISTA 5で更新



株式会社とちぎテレビ  
放送本部 技術局 技術部  
大西 一宏

2011年2月に制作サブである第1スタジオの映像設備及び音声設備のデジタル化を行いました。以前の音声卓はアナログ卓です。オペレーターも長期間その音声卓に慣れてきた経緯もあり、デジタル卓仕様の違いや操作方法の習得に時間がかかるのではないかと少し戸惑いもありましたが、1日程度のレクチャーを行っていただき、VISTA 5の操作や取り扱いも徐々に馴れて、短い更新期間において問題なく移行を完了することが出来ました。

今回の音声設備選定において考慮した点は、音質はもちろんですが、生放送でも迅速に対応できる操作性です。また映像系統変更などによる音声遅延の変化に柔軟に対応できることも重要で、



当社の運用に合致した入出力系統を備えていること、システム基幹部つまりDSPや電源の冗長構成がとられていること、パッチング作業を含むセッティング作業が簡便であること、将来を見据えて、5.1chミックス運用が可能であること、そしてリーズナブルな価格であることです。

音声卓選定時に実機でデモンストレーションを行いました。できるだけ現状の設備で音声卓のクオリティーを確認したいという理由もあり、他メーカーを含め、当社の旧スタジオサブの普段使用しているメインスピーカーにてデモンストレーションを実施、音質の比較検討も行いました。「やはり、スチューダーの音質はすごい。」という実感が一番印象に残っています。

また、ユーザーが選択した多種音声入出力CARDの構成により必要な仕様/運用形態が実現できる点と、生放送に対応する為、基幹システムの電源二重化により安定した運用ができる点も評価できます。

VISTA 5はデジタル卓ですが、アナログ卓と同様な操作性を重要視しつつ、レギュラー番組ごとにスナップショットを作成し、瞬時に番組ごとの設定に変更ができるので、今まで使用してきたアナログ卓に比べてセッティング時間の短縮が図れています。Vistonicsの画面上で各パラメータが見渡せる視認性の良さもすばらしく、生放送中でもパラ

メータを確認しながら安心してオペレートできます。

歌番組の収録時には多数のアナログパッチのつなぎ替え等、今までは仕込みに多くの時間を割く必要がありましたが、VISTA 5の運用になってからは1度タイトルを作成すれば、瞬時に変更できる事が非常に便利で、特番などの事前仕込みもスタジオ運用の空き時間に効率よく作業できるようになりました。

また、フェーダーの並びが瞬時に変更できるのでオペレータごとに運用しやすいように設定を保存しておいて、各自の設定を呼び出して運用をしています。

常日頃感謝している事は、非常に大切なサポート体制です。海外メーカー代理店である、スチューダー・ジャパン・ブロードキャスト社に敏速な対応をしていただき、毎日のオペレートを安心して行っています。

